

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覽

主食
新型コロナウイルスの感染再拡大により、巣ごもり・備蓄需要が活況となり、前月よりも伸長した。ところが、カテゴリによって好不調が分かれ、主食計では前年比100.1%と前年をわずかに上回る水準となった。

調味料
活況な巣ごもり需要の影響により、前年比105.8%と好調を維持。「シロップ類、蜂蜜、低カロリー甘味料」:シロップ類では、TV番組で特集された影響で伸長した前月ほどの勢いはないものの、家庭内で菓子やケーキなどを子供たちと一緒に手作りするという需要が、依然として堅調と見て取れる。

※網掛け
前年比 105%超: [色付き]

加工食品①
前月よりも伸長し、前年比105.9%と前年を上回り好調を維持。「パスタソース」:主食のスパゲティと同様に、活況な巣ごもり需要を背景として、前月よりも大きく伸長。

加工食品②
前月よりも伸長し、前年比107.1%と前年を上回り好調を維持。「パウチ入り食材」:年末需要でタケノコとサトイモが伸長。とりわけサトイモは、免疫力向上効果が着目されたため好調が続いていたこともあり、前年の2倍まで伸長。

加工食品③
前月よりも伸長し、前年比103.0%とほぼ前年並みとなった。「ちくわ・はんぺん・揚げ物」:おでんの具材としての需要により伸長したと考えられる。

菓子
前月よりも伸長し、前年比100.3%と前年をわずかに上回った。外出自粛の影響により、キャンディやチューインガムの不調は継続。「スナック」:巣ごもり需要により伸長しており、ポテトチップスのほか、ビーンズスナックやポップコーンも好調。

嗜好品
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.7%と前年を上回った。「ホイップクリーム」:手作り菓子需要により、引き続き堅調。「ココア」:平年よりも気温が低かった中旬以降に伸長し、前月を大きく上回った。カルシウムを豊富に含み、子供の成長に効果があると訴求する商品の好調も寄与。

飲料
外出自粛の影響か、前月よりも落ち込み、前年比95.3%と前年を下回った。「牛乳」:白牛乳のほか、プロテインミルクや苺ミルクなどミルク飲料も伸長。「サイダー」:前月ほどの勢いはないものの、レモンフレーバーの商品の好調が続いており、前年を上回った。「炭酸飲料」:アップルやメロンなどのフレーバーの新商品が寄与。

アルコール
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.4%と前年を上回った。「ウイスキー」:巣ごもり需要の影響もあり、前年より伸長。炭酸水で割って飲む、ハイボールとしての需要も寄与していると推察される。「ワイン」:巣ごもり需要の影響か、年末需要のシャンパンが伸長。炭酸水やお湯などで割って飲むタイプの商品の好調も寄与。

日用雑貨
前月よりも落ち込んだものの、前年比106.4%と前年を上回った。「家庭用手袋」:使い捨てタイプのものが伸長。新型コロナウイルスの感染予防のため、大掃除の際の需要が高まったためと考えられる。「絆創膏」:中旬以降に平年よりも気温が下がりが乾燥するなか、調理や大掃除の機会が増えたことで、手荒れ予防・ケアのための需要が高まったものと推察。

化粧品
外出自粛やマスク着用、インバウンド需要縮小の影響により、口紅やファンデーションなどのメイクアップ化粧品の不調が続いており、化粧品計では前年比85.8%と前年を下回った。「洗顔クリーム」:にきび予防の効果を訴求する商品が好調で、マスク着用による肌荒れ対策としての需要が高まっていると考えられる。

ペット
前月よりも落ち込んだものの、前年比103.6%と前年を上回った。「キャットフード」:離乳期や幼年期向けの商品の伸び幅が大きいため、外出自粛により新たに買い始めた人の需要が高まっていると考えられる。

石鹸・ヘアケア
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.8%と前年を上回った。「石鹸」:とりわけ、ハンドジェルやハンドソープが大きく伸長しており、新型コロナウイルス予防対策の需要が堅調と見て取れる。「入浴剤」:平年よりも気温が下がった中旬以降に伸長。外出自粛の影響により、家庭内でのレジャーの用途としても需要が高まったと考えられる。

医薬品
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.4%と前年を上回った。「マスク」:伸び幅が落ち着いてきているものの、新型コロナウイルスの感染予防対策の需要が底堅く、依然として前年比209.5%と前年を大きく上回った。「皮膚用薬」:新型コロナウイルス感染予防対策の需要が堅調で、手指消毒剤が引き続き大きく伸びている。また、中旬以降に平年よりも気温が下がりが乾燥したことにより、手荒れ用の商品も伸長。

健康食品
前月よりも落ち込んだものの、前年比104.8%と前年を上回った。「石鹸」:とりわけ、ハンドジェルやハンドソープが大きく伸長しており、新型コロナウイルス予防対策の需要が堅調と見て取れる。「入浴剤」:平年よりも気温が下がった中旬以降に伸長。外出自粛の影響により、家庭内でのレジャーの用途としても需要が高まったと考えられる。

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート 第三者開示・利用基準」に従います。また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。